

請求の範囲

- [請求項1] 対象から得られた生体サンプルを分析する方法であって、
BC2LCN結合性の糖鎖に結合する分子、SerpinA3に結合する分子、およびGal3BPに結合する分子からなる群から選択される第1の分子と、BC2LCNである第2の分子とを用いて実施されるアッセイによって、生体サンプル中に含まれる成分を分析することを含む、方法。
- [請求項2] 第1の分子がSerpinA3に結合する抗体である、請求項1に記載の方法。
- [請求項3] 第1の分子がGal3BPに結合する抗体である、請求項1に記載の方法。
- [請求項4] 第1の分子がBC2LCNである、請求項1に記載の方法。
- [請求項5] 対象が、がんを有する、またはその可能性を有する、請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。
- [請求項6] 対象が、膵がんを有する、またはその可能性を有する、請求項5に記載の方法。
- [請求項7] 対象が、ステージ1または2の膵がんを有する、またはその可能性を有する、請求項6に記載の方法。
- [請求項8] BC2LCN、SerpinA3に結合する分子、およびGal3BPに結合する分子からなる群から選択される第1の分子と、BC2LCN結合性の糖鎖に結合する分子である第2の分子とを含み、第1の分子と第2の分子とを用いて対象の生体サンプル中の糖タンパク質の量を測定することができる、サンドイッチアッセイ用のキット、免疫クロマトアッセイ用のキット、レクチン電気泳動用のキット、質量分析用のキット、レクチンアフィニティークロマトグラフィー用のキットまたは μ TAS用のキット。
- [請求項9] 第1の分子がSerpinA3に結合する抗体であり、糖タンパク質におけるタンパク質部分がSerpinA3である、請求項8に記載の方法。

載のキット。

- [請求項10] 第1の分子がG a l 3 B Pに結合する抗体であり、糖タンパク質におけるタンパク質部分がG a l 3 B Pである、請求項8に記載のキット。
- [請求項11] 固相化されたB C 2 L C Nである第2の分子と、標識されたB C 2 L C N、標識されたS e r p i n A 3に結合する抗体、および標識されたG a l 3 B Pに結合する抗体からなる群から選択される標識された第1の分子とを含む、請求項8に記載のキット。
- [請求項12] がんを検出することに用いられる、請求項8～11のいずれか一項に記載のキット。
- [請求項13] がんが、膵がんである、請求項12に記載のキット。
- [請求項14] がんが、ステージ1または2の膵がんである、請求項13に記載のキット。
- [請求項15] 対象ががんであるか否かを予測する方法であって、請求項1～7のいずれか一項に記載の方法を実施することを含む、方法。
- [請求項16] 対象から得られた生体サンプル中において特定成分を検出する方法であって、
特定成分は、2つのB C 2 L C Nを同時に結合することができる成分、B C 2 L C N結合性のS e r p i n A 3、およびB C 2 L C N結合性のG a l 3 B Pからなる群から選択される成分である、方法。
- [請求項17] 対象から得られた生体サンプルから2つのB C 2 L C Nに同時に結合できる成分、S e r p i n A 3およびG a l 3 B Pからなる群から選択される1以上の成分を分離することを含む、方法。
- [請求項18] 対象が、膵がんまたは膵がんを有する可能性を有する対象である、請求項17に記載の方法。
- [請求項19] 膵がんが、ステージ1または11の膵がんである、請求項17に記載の方法。
- [請求項20] 分離された成分の量を測定することをさらに含む、請求項17～1

9のいずれか一項に記載の方法。

[請求項21] カットオフ値と前記測定された成分の量とを比較することをさらに含む、請求項20に記載の方法。

[請求項22] カットオフ値が、健常者の前記測定された成分に対応する成分の量の平均値以上の値であり、膵がん患者の前記測定された成分に対応する成分の量の平均値以下の値である、請求項21に記載の方法。

[請求項23] 前記成分が、BC2LCN結合性のSerpina3、およびBC2LCN結合性のGal3BPからなる群から選択される成分である、請求項17～22のいずれか一項に記載の方法。